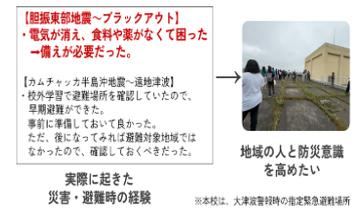


## I 学習の様子

## 【課題の設定】6月

釧路地域では大規模地震の発生が想定されており、本校は大津波警報発令時の指定緊急避難場所となっている。こうした状況や過去の地震、ブラックアウトの経験を踏まえ、地域の防災意識を高めることを目的に、「防災・環境」をテーマとした探究活動を設定した。



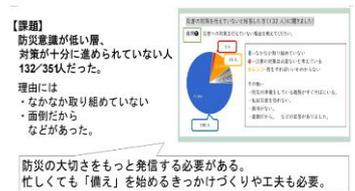
## 【情報の収集】7～9月

釧路市民防災センターでの校外学習や、釧路市総務部防災危機管理課による出前講座を通して、防災・減災について学習した。また、地域の防災意識や不安の実態を把握するため、釧路地域でGoogleフォームと紙面による防災アンケートを実施し、351名から回答を得た。



## 【整理・分析】9～10月

アンケート結果から、多くの人が災害に不安を感じている一方で、十分な対策ができていない実態が分かった。寄せられた質問や意見を整理し、防災の正しい知識や学ぶ機会を広げる必要があるという課題を見出した。これらの結果や校外学習、出前講座での学びを生かし、地域の方が体験を通して防災について学ぶ活動を検討した。



## 【まとめ・表現】11～12月

文化祭において、防災をテーマとした体験型ブースを企画・実施した。巨大防災すごろくや防災グッズづくり、防災講義、動画発表などを通して、来場者が楽しみながら防災を学べるよう工夫した。また、SNSによる防災動画の発信にも取り組み、地域への情報発信を行った。



## II 探究活動の成果

- ・校外学習や出前講座、防災アンケートを通して、防災に関する地域の実態や課題を具体的に把握することができた。また、課題解決に向けて必要な情報を考えるなど、思考の深まりが見られた。
- ・文化祭での体験型企画では、「備えを見直すきっかけになった」「防災意識が高まった」などの感想が寄せられ、地域住民の防災への関心を高めることにつながった。
- ・探究活動の過程を可視化し、地域の方や関係機関と連携することで、生徒が社会とのつながりを実感し、自己有用感や主体的に学ぶ姿勢の育成につながった。

## III 今後に向けて

- ・地域の不安や質問に応えるため、防災危機管理課と連携し、SNSや動画など多様な方法で防災情報を発信する。
- ・次年度は全学年で「防災」をテーマに探究活動を行い、学年間の系統性を踏まえて学習内容や教育課程を見直し、ゆとりのある時間配分の中で探究活動の充実を図る。
- ・学校祭での発信や他校との交流を通して、地域と連携した継続的な探究活動を推進する。
- ・生徒の強みや特性に応じた手立てを具体化するとともに、探究サイクルや情報活用に関する校内研修を充実させ、伴走者としての力量を高める。